

iRIC 研究会で自主的に実施したい活動はありますか？ 特に、ご自身の研究・技術開発に関連して、新規ワーキンググループの立ち上げや勉強会の開催などのコメント・ご意見を歓迎致します。

■3次元データに関するもの

- ・ iRIC による氾濫計算結果を VR 化
- ・ 3次元モデルの活用や、自作モデルの iRIC 移植に興味があります。細々とやっています。

■勉強会に関するもの

- ・ VR 化関連の知識を仕入れる勉強会
- ・ youtube 講習 & 交流 WG(JP+EN)
- ・ iRIC 研究会経由ではないですが、HP にてサンプルデータ・操作マニュアルの提供、YouTube では解説動画などを公開しております。今後も動画は作成予定ですが、iRIC 研究会とも連携しながら進めていければと思います。
- ・ 無料で iRIC を使えることで数値解析が便利になる反面、プログラミングをする機会が減り、ソフトを使うことが主目的で河床変動計算の本質を忘れてしまいがちなので、定期的な社内勉強会に講師を招いて学習したいと考えています。
- ・ 勉強会よりは、一般のユーザー側からの事例発表会があると、双方向の活動になるような気がしました。
- ・ 現在の iRIC におけるソルバーの組み込み方法について、体系的に理解できる講習会などがあると大変たすかります。
- ・ 私は主に Nays2DH を使用することが多いですが、iRIC にはその他にも様々なソルバーがあるため、同業他社等がどのソルバーをどのような業務に活用しているのか興味があります。このため、現場での iRIC 活用事例について情報共有を行える場を設ける良いかと思いました。
- ・ 自主的に実施するほどの能力はありませんが、勉強会の参加は可能です。

■iRIC の実務への適用やモデル開発に関するもの

- ・ 流域治水の集水域対策の効果測定(土砂流出モデル)
- ・ 河川の流況と海域現象とを結合させて計算するモデルの開発
- ・ 多自然川づくりを支援するツールとしての開発を進めたいと思っています。これに関する意見交換やツールを用いた設計法に関する勉強会など考えています。
- ・ 河岸侵食など実現象のシミュレーションや護岸の効果確認、魚類の生息環境の定量評価への応用などに関心を持っています。

■海外展開等に関するもの

- ・ 所属団体の各種案件や活動を通じて、iRIC の紹介、普及、河川のリスク分析や人材育成、組織能力の強化等を実施しています。iRIC 研究会では、グローバル戦略も議論いただきたいと思っています。

その他, iRIC 研究会のあり方など, 何でも結構ですので自由にご意見お寄せください.

■ iRIC 研究会のあり方に関するもの

- よくありがちですが、「言い出しっぺは責任持ってやりきる」風潮があると、意見が出にくくなると思います。意見が出た後に、他に手伝ってくれそうな人がいるか、自分のスケジュールに余裕があるか、必要経費を出せそうか等の情報が出揃って、初めて「やる」「やらない」を決められるような形だと、取り組みやすいのではないかと個人的には思います。
- web 開催ですと参加しやすいのでありがたいです。
- iRIC の活用状況に関する調査
- 限られた人員で運営していますので、すべての課題に対応していくと疲弊して立ち行かなくなります。ですので、劣後順位を決めて、今はやらないことを決めるのが良いかと思いました。
- 私は来年で現所属を辞めてフリーになります。その後は個人の立場で応援します。
- 個人的な iRIC 研究会のあり方として、最新機能や社外の人が活用している技術について情報収集の場として利用させて頂いてました。今後とも情報収集の場として活用させて頂けたら幸いです。
- 実際に利用していない、使う機会がないのですが、先進的な研究やツールの進展情報は把握したいと思っています。定期的な情報発信を期待しています。
- iRIC 研究会には 3 年ほど前から参加させて頂いておりましたが、途中参加ということ、コロナもあり数回しか参加していないこともあり、研究会がやるべきことをきちんと理解できておりません。途中参加者にも分かりやすいように、研究会の目的などを今一度整理していただけますと幸いです。
- open innovation で自由な意見、研究成果の活用がなされるのは素晴らしいと思います。それを今後ともあと押しするエンジンを整備していかななくてはいけないのではと思います。研究を後押しすると言っても良いですが。
- 過去には、開発側としてかわらせてもらいましたが、iRIC 研究会のおかげで研究成果の具現化をはかれ研究の普及を進めることができました。現在は、開発側というより一人のユーザーとしての方が強いのですが、今にあったより良い形に会が発展されればと思っております。
- 電力土木、水工学、水文(ダム管理)などに関連した解析技術について情報を収集したいと考えております。

■ iRIC やソルバーに関するもの

- iRIC ソフトウェアは昔より安定しかなり使い易くなりました。
- 将来的に、河水変動の二次元計算モデルをリリースできればと思っております。

■ 3D データ等に関するもの

- Unreal Engine に解析結果を反映させて 3 次元での動画やシミュレーションをできるようにしたいです。

■ 勉強会に関するもの

- 土砂水理学の理論的な解説を講義頂く機会がより増えるとありがたい。
- 大まかな使い方や細かいテクニック等知らない人、事が多い印象ですので、あらゆる方法で様々なレベルのニーズに合わせた情報発信が必要と考えています。

- zoom でのセミナーに何度か参加させていただき、大変勉強になりました。ありがとうございます。要望ですが、質問に対する回答が早くてあまり理解できませんでした。想像ですが、セミナーや web での解説が理解できる人は iRIC を使いたい人のごく一部(1割程度)だと思います。そこで、有料で iRIC を使っている人の相談にのるコンサル事業をしてはいかがでしょうか？お忙しいのは承知していますので、時給 2 万円とか、教える側がやる気が出る額を設定してよいと思います。現場で使っている者としては、つまりしているところを集中してつづせるので大変有益だと思います。

■海外展開に関するもの

- すべてを英語化による海外普及